

ムラタの知的財産活動

基本的な考え方

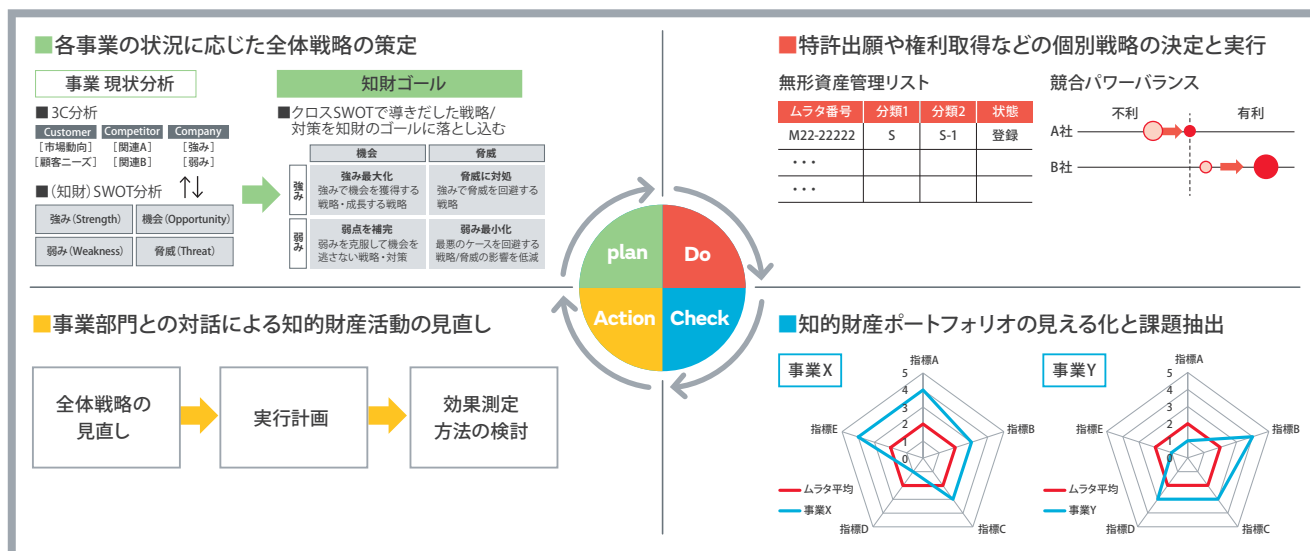
ムラタでは、経営・事業方針に即したスピーディーかつ柔軟な知的財産活動を実行しています。適切な知的財産の獲得・蓄積は、事業の競争優位性の維持・強化につながるものであり、知的財産グループが事業・開発に対する迅速な支援を行っています。また、自律分散型の組織運営にもとづき、コーポレート視点での提案やガバナンスの適正化に努めています。

近年、経営に資する知的財産活動や戦略的な情報公開など、知的財産機能に求められる役割は、ますます拡大してきており、従来の活用を目的とした特許権の獲得に加え、社内外のステークホルダーとの価値共創に貢献する知的財産活動のあり方も探求しています。

既存事業における知的財産戦略

知的財産権の獲得に加え、全社および事業ごとのポートフォリオを、知財スコアや投資効率の基準値との比較、存続期間や独自分類ごとの構成比などをもとに、客観的に評価し、戦略や活動の適正化を図る活動を開始しています。戦略的知的財産活動の内容は毎年、取締役会で報告し、監督を受けるとともに、経営会議でも議論することで知的財産活動に対するガバナンスも強化しています。

知財戦略の実践PDCAサイクル



新規事業の創出に向けた知的財産活動の推進

事業部門に対して、IPランドスケープ[※]を駆使し、新規事業につながる技術・事業領域や共創パートナーを提案する活動を進めています。また、3層目のビジネス領域における理想的な知的財産活動の態様やそれを支える組織構造を考え実行するチームを設置して取り組みを加速させています。2022年度より、環境・ウェルネスにおける知的財産の蓄積を目的に、ムラタの挑戦領域に資する発明に対して、特別報奨金制度を新設し、従業員の意識向上と積極的な発明創出を促しています。これらの活動を通じて、ムラタの企業価値向上に資する知的財産活動を常に希求していきます。

事業フェーズに合わせた知的財産活動のステップ

- STEP1** IPランドスケープを駆使した事業探索支援
- A) 技術動向調査や用途探索
- B) 共創パートナーや自社の強みを活かす事業分野の選定
- STEP2** 新規事業の早期立ち上げや新たなビジネスモデル構築の支援
- STEP3** ビジネスモデルの優位性を確保するための、知財ミックス戦略の策定とその実行

※知財情報と非知財情報を組み合わせ、自社・競合・市場を統合的に分析し、そこから得られた情報を経営戦略に役立てる手法